

2023 年度 社会福祉法人めやす箱  
倉敷西部地域生活支援センター 事業報告

## 概要

ご利用者一人一人を大切に、法人理念である「・利用者主体のニーズの追及」「・ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「・職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし福祉サービスの提供を行いました。また事業所目標でもある以下の3つの項目を意識して、今年度サービスの提供を行いました。

### 1. 事業目標

- ① 一人ひとりのニーズの実現を目指した計画作成
- ② エリアの福祉拠点を意識した体制整備
- ③ 地域のリーダー育成

上記3つを事業目標として一年間運営に取り組んでまいりました。計画作成を行う指定相談支援事業所と倉敷市からの運営委託の地域活動支援センターI型との2つの看板を掲げ障がいを持つ方の地域生活の推進に努めた今年度一年間の取り組みについて事業目標に沿い振り返りを行ないます。

①一人ひとりのニーズの実現を目指した計画作成については利用者の立場に立ったサービス等利用計画の作成を行いモニタリングにより評価・確認を行ってきた。今年度は昨年に続き事業所の移転という行事もあり利用者へのPR・周知も遅れ迷惑を掛ける事もあったが相談室・会議室の整備も出来、相談支援の機能は高まっていると感じている。また地域生活者の支援としては自立生活援助と地域定着支援を駆使しながら支えてきた。感染症対策も緩和された事もあり自宅・施設への訪問モニタリングも再開され従来の支援体制に戻りつつある。

②エリアの福祉拠点を意識した体制整備については倉敷市の地域活動支援センターへの運営委託を継続して受託。移転後日々のサロン利用者の場所の利便性から減少しているが訪問・電話等の相談件数は増えている。倉敷西部エリアの関りとしては情報交換会の開催を継続的に行ってきた。エリアの地域課題を拾い集める事で倉敷自立支援協議会での取り組みに反映し地域福祉の中核的役割を果たしている。

③地域のリーダー育成については主任相談支援専門員の育成を行い事業所内のスーパーバイズを継続的に行っている。一人ひとりのスキルを高める事で地域のリーダー育成を図りエリア全体の底上げを目指して取り組んでいる。多職種連携も積極的に行い各種研修会の企画にも活用している。相談の増えている虐待案件についても倉敷基幹相談支援センターとの連携を行い利用者の保護・支援が取り組める人材育成を行ってきた。

2. 具体的数値目標について

① 事業所内車両事故 3 件

今年度は車両事故は 3 件。：原因の違いはあるが車両委員会と連携して事業所会議・朝礼での啓発と研修を活発に実施し各職員の意識・技術の向上に努めてきた。

② 計画相談・障害児相談 1,500 件の実施

児童の契約者の減少があり全体的には減っているが、行政より直接依頼のケースもあり現在 1220 件の契約者で推移している。

3. 利用者・職員の状況

(1) (定員 名) (単位：名)

	2023 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2023 年 1 月	2 月	3 月
契約数	1320	1310	1310	1290	1290	1285	1270	1250	1225	1225	1210	1220

(2) 地域定着支援 (定員 40 名) (単位：名)

	2023 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2023 年 1 月	2 月	3 月
実績数	26	26	25	28	28	28	26	26	24	24	23	23

(3) (開所) 状況 (単位：日)

	2023 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2023 年 1 月	2 月	3 月	
開 始 時間	9:00	26	27	27	27	28	27	27	27	25	25	22	27
終 了 時間	18:00												

合計 315

(4) 職員の状況 (2023年3月31日現在) (単位:名)

区分	管理者	相談支援専門員	相談員	事務員	合計
常勤職員	1	10 (管理者 含)		1	11
非常勤職員		1	1		2

(5) 職員の勤務体制 (2024年3月31日現在)

K勤: 8:45~17:30 8時間 (45分休憩)

B勤: 8:45~16:30 7時間 (45分休憩)